

AGI 東アジア12カ国・地域経済動向

東アジア12カ国・地域の経済動向を、主要統計のグラフとアジア成長研究所（AGI）の研究者による解説とともにお知らせいたします。

グラフの読み方

図1：実質GDPとGDPデフレータの伸び率 一国経済の基本的な経済動向を読む

- 実質GDP 国内総生産（GDP：Gross Domestic Product）は、国内で生み出された財・サービスの付加価値の総計である。GDPには名目値と実質値があり、そのうち実質GDPの伸び率は経済成長を測る代表的な指数である。
- GDPデフレータ 名目GDPを実質GDPで除した値として計算される。その伸び率は、名目GDPの価格上昇分を表し、インフレの程度を知ることができる。GDPデフレータのプラスの伸び率が高いほどインフレ傾向にあり、マイナスの伸び率が高いほどデフレ傾向にある。

図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率 政府の金融政策と景気の関係を読む

- 貨幣供給量 経済全体に流通している貨幣の総量。通常、金融政策は中央銀行が貸出や公定歩合操作、債券売買や外為市場介入等を行うことによって実施される。金融政策により貨幣供給量が増加すれば、短期的には経済が拡大するが、長期的には貨幣価値が下がるので物価の上昇を招きやすい。M1とは現金の流通額と預金（当座預金、普通預金等）を合わせたもので、M2はM1に定期預金、外貨預金等を合わせたものである。
- 国内信用 銀行部門の貸出等（信用）の総額。政府向け信用と民間向け信用に大別される。政府向け信用は主に銀行の国債保有残高、民間向け信用は主に企業向け貸出額にあたる。この伸び率が高ければ、国内市場に循環する資金が増加したことを示す。なお、一部の国では国内債権（Domestic Claims）を使用している。

図3：消費者物価指数、株価指数、為替レート指数 インフレと景気動向を読む

- 消費者物価指数 消費者が購入する財・サービスの価格を加重平均したものの。インフレの程度を測る代表的な指数である。指数が上昇すればインフレ傾向にあり、下落すればデフレ傾向にある。
- 株価指数 株式市場の上場銘柄全体の値動きを表す指標である。景気（および人々の期待）の動向を知ることができる。指数の継続的な上昇は好況を、継続的な下降は不況を示唆する。
- 為替レート指数 本国通貨と米ドルとの交換レート（ドル/本国通貨）。指数の上昇は本国通貨高、下落は本国通貨安を示す。本国通貨高は輸入価格の下落により、輸入がしやすくなる一方、対外的に見て、輸出価格が上昇するので輸出が難しくなる。

図4：輸出額と輸入額 対外経済部門の動向を読む

- 輸出額 輸出数量×輸出価格。輸出は外貨獲得の重要な手段である。
- 輸入額 輸入数量×輸入価格。資本財や中間財の輸入は国内の生産能力を増大させ、消費財の輸入は消費者の満足度を高める。



公益財団法人

アジア成長研究所

日本の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

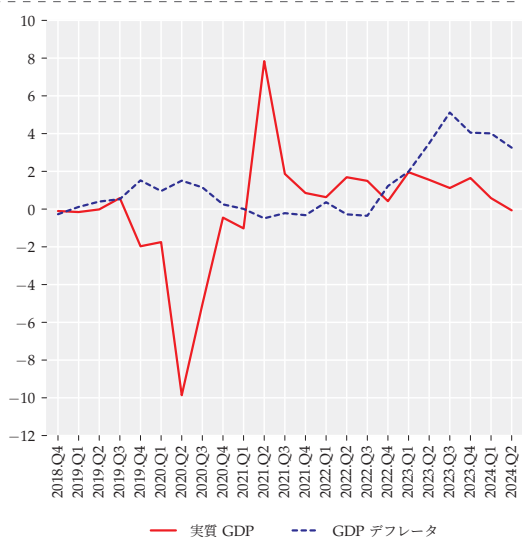


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

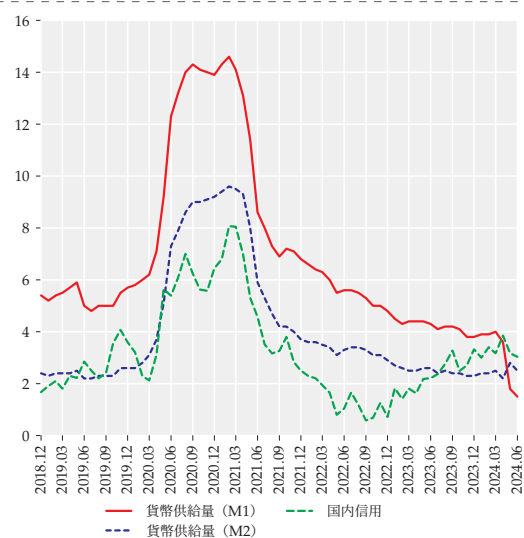


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

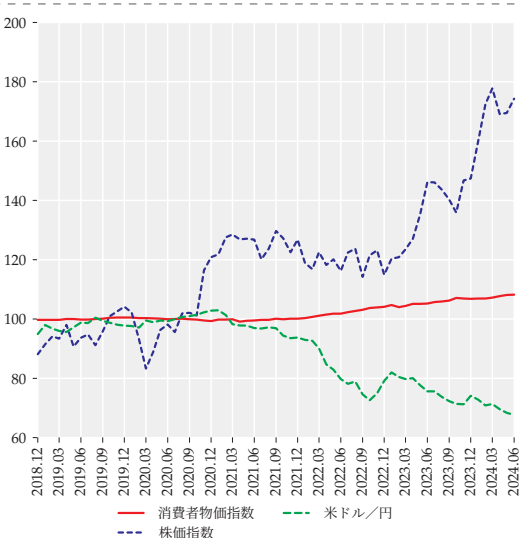
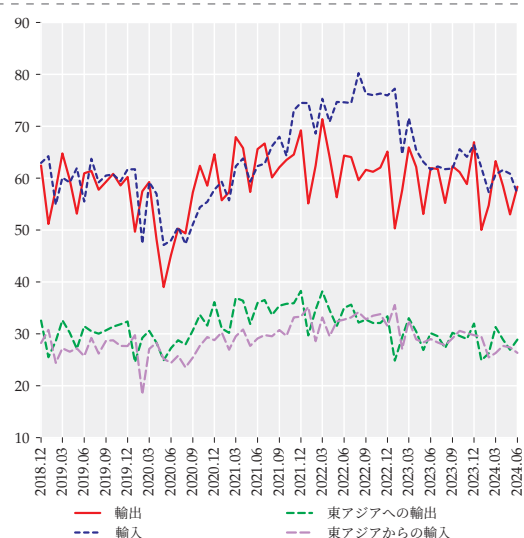


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



日本経済の動向 (2024年第2四半期)

2024年第2四半期の実質 GDP の伸び率は前期 (-0.9%) からやや改善し、-0.8%となった(前年同期比、速報値)。民間最終消費支出が前年同期比で -0.2%と前期 (-1.8%) より改善したほか、民間企業設備投資も 2.4%となり、内需が増加に転じた。民間最終消費は、物価高の下押し圧力は依然として強いが、不正問題発覚による生産・出荷停止の解除を受けて自動車販売が回復したこと等により増加した。物価上昇率の鈍化や春闘での大幅賃上げ、6月から始まった定額減税も消費を後押しした可能性がある。しかし、その伸び率は4四半期連続のマイナスである。第2四半期の輸出および輸入はそれぞれ前年同期比で -0.4%と 2.6%となった。インバウンド需要の拡大などからサービス輸出が高い伸びとなったことが輸出を押し上げたが、自動車販売の回復はまだ弱く、輸出は弱い動きを見せている。景気は緩やかな持ち直しに転じたと判断される。

(小松 翔)

中国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

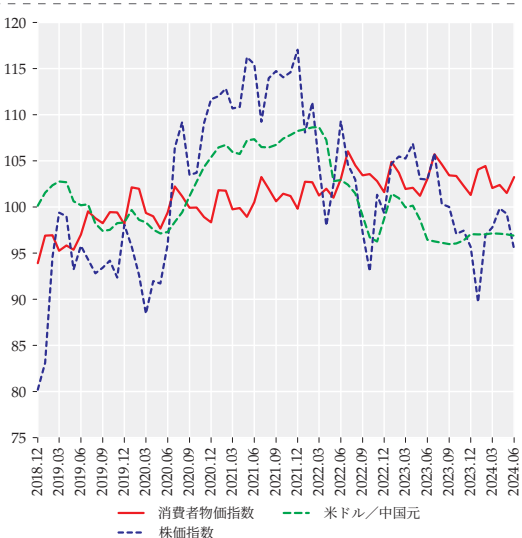
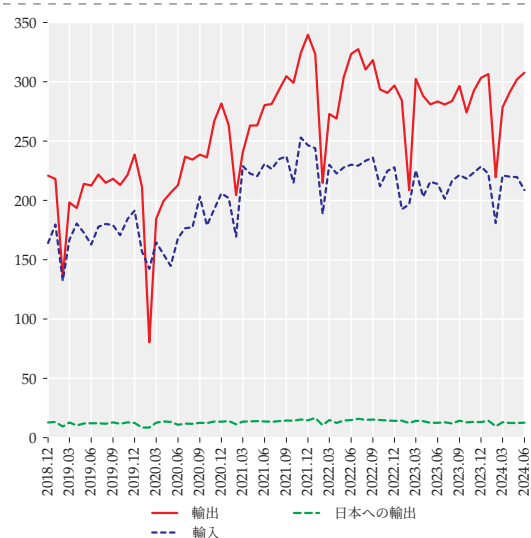


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



中国経済の動向 (2024年第2四半期)

第2四半期の実質 GDP の伸び率 (前年同期比、以下同じ) は、前期の 5.3 % を下回り、4.7 % となった。支出側から見た成長率への貢献度は、国内最終消費が 46.5 %、固定資本形成が 40.1 %、純輸出が 13.3 % であった。「ゼロコロナ政策」が 22 年末に終了した後、一時的に急増したリベンジ消費は徐々に落ち着きを見せている。特に宿泊・飲食業の伸び率は、23 年第 1・第 2 四半期の 13.6 % と 17.5 % という高水準から、24 年はそれぞれ 7.3 % および 5.9 % へと低下した。国内消費の低迷により、サービス業の付加価値額の伸び率は、前期の 5.0 % から 4.2 % へと減速した。長引く不動産不況と雇用不安が内需を圧迫している。工業の付加価値額は 5.9 % 増となり、前期の 6.0 % 増から微減したが、3D プリンター、新エネルギー車 (NEV)、集積回路などの生産・輸出の拡大に支えられ、堅調に推移している。しかし、中国製電気自動車 (EV) に対する EU や米国、カナダの追加関税措置などによる貿易摩擦が進行中であるため、外需の拡大には懸念が残る。(彭 雪)

香港の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

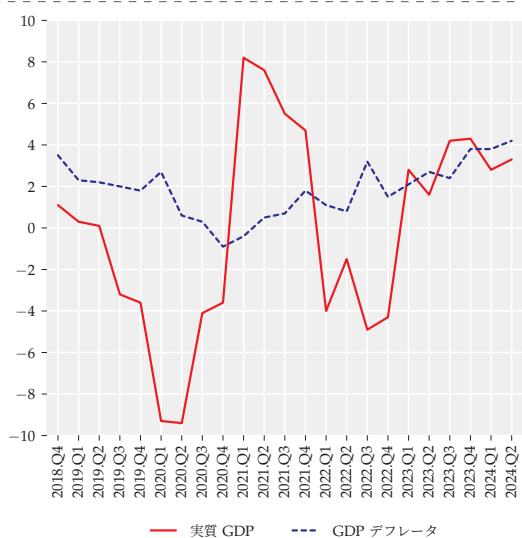


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

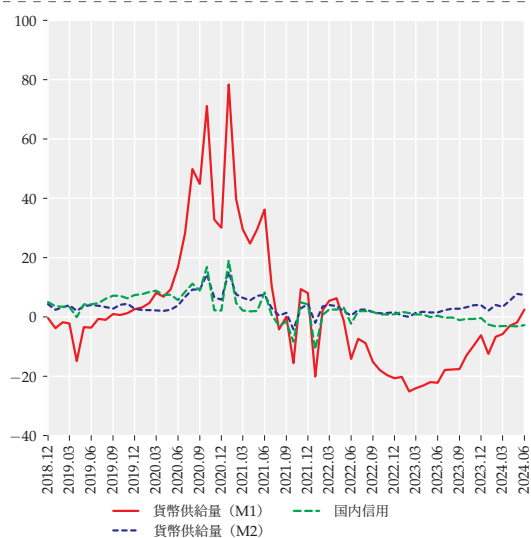
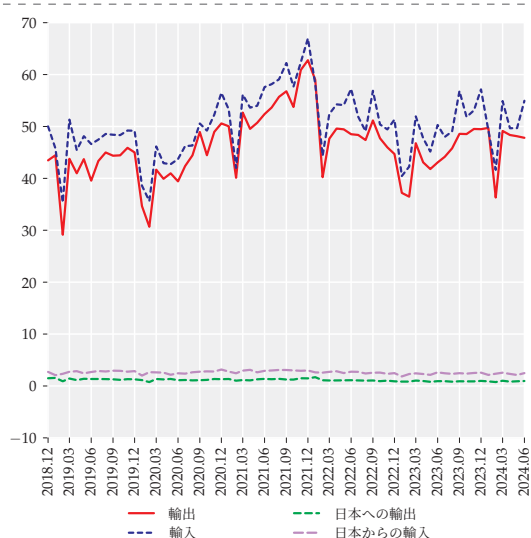


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)



図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



香港経済の動向 (2024年第2四半期)

香港の2024年第2四半期の対前年同期比実質 GDP 伸び率は3.3%になり、第1四半期の2.8%から加速した。第1四半期のGDP支出側構成別成長率をみると、民間消費は1.5%減少した(第1四半期は1.2%増)が、政府消費は2.0%増加した(第1四半期は2.2%減)。また、固定資本形成は6.0%増と第1四半期の0.1%増から強く回復した。一方、主に中国本土やASEAN・インドなどアジア主要市場および米国の需要牽引で、第2四半期の香港の貨物輸出は引き続き好調で7.5%伸びた(第1四半期は6.8%)。サービス輸出は第1四半期の9.4%増から1.4%へ減速したものの、増加を維持している。貨物輸入とサービス輸入は、それぞれ3.4%と12.4%伸びた(第1四半期はそれぞれ3.3%増と18.0%増)。なお、第2四半期の失業率と消費者物価上昇率は、いずれも1.2%で安定な低水準を維持している。香港政府は8月16日に、2024年通年の実質 GDP 成長率について、前回と同様の予測値(2.5~3.5%)を公表した。(戴 二彪)

韓国の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

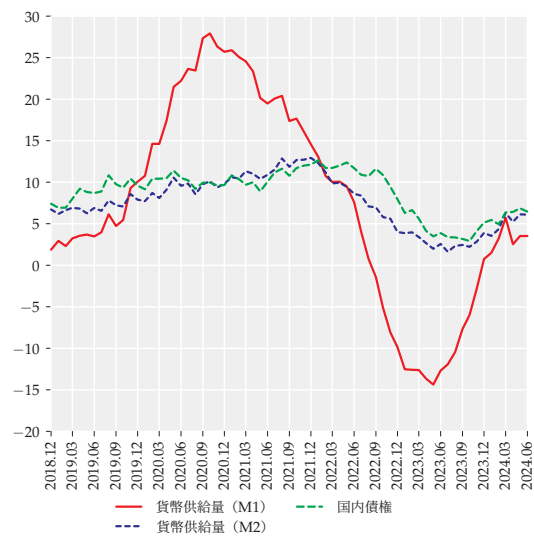


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

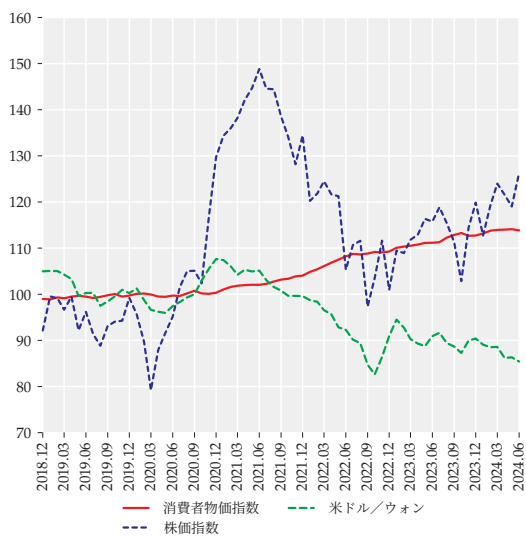
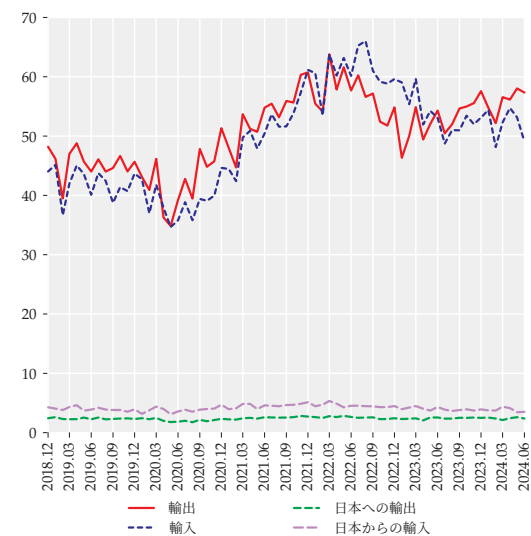


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



韓国経済の動向 (2024年第2四半期)

韓国の2024年第2四半期の実質 GDP の伸び率(前年同期比, 以下同じ)は2.30%で, 前期から約1%ポイント低下した。6月末の株価指数は2,797.82, 1米ドル=1380.13ウォンであった。株価は上昇し, ウォン相場は下落した(今年3月末の同指標は2,746.63, 1330.69ウォン)。また, 6月末の消費者物価指数(CPI)は113.84(2020年=100)で, 対前年同月比の伸び率は2.41%であった。CPIの伸び率は昨年末から3%前後の水準で推移していたが, 4月以降は下落傾向にある。外需は, 輸出の伸び率が4月に13.6%, 5月に11.5%に達したが, 6月は5.6%に落ち込んだ。M1の伸び率は3.53%で, 昨年12月以降上昇していたが, 4月以降は伸びが鈍化している。韓国経済は第2四半期に引き続き, 第3四半期も好調な輸出が成長を牽引する見通しだが, 今後の展望は主要国の経済成長や物価動向, IT産業の成長サイクルの拡大ペース, 政治情勢などに左右される。物価については, 天候や公共料金の調整時期などが潜在的なリスク要因となる。(柯 宜均)

台湾の経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

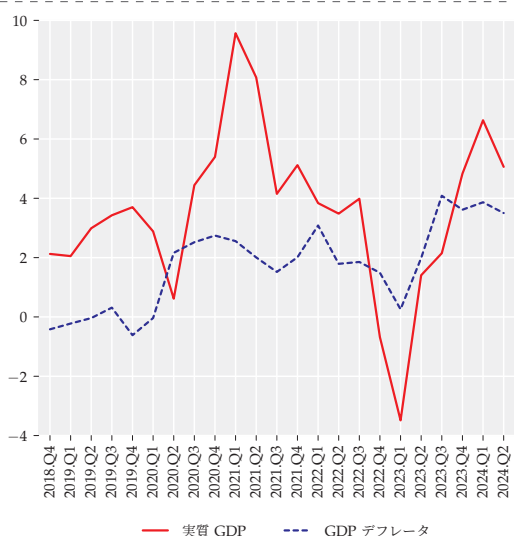


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

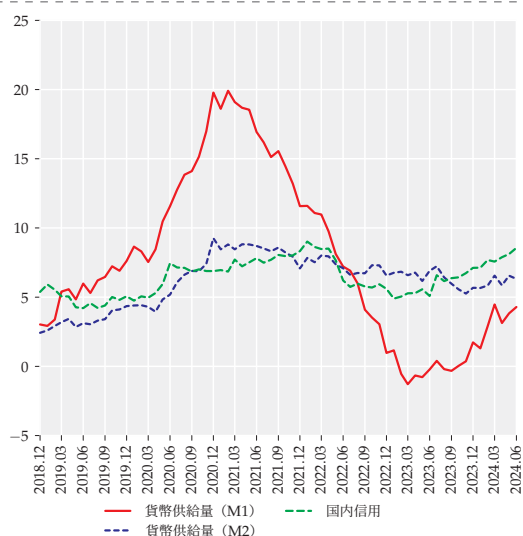


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

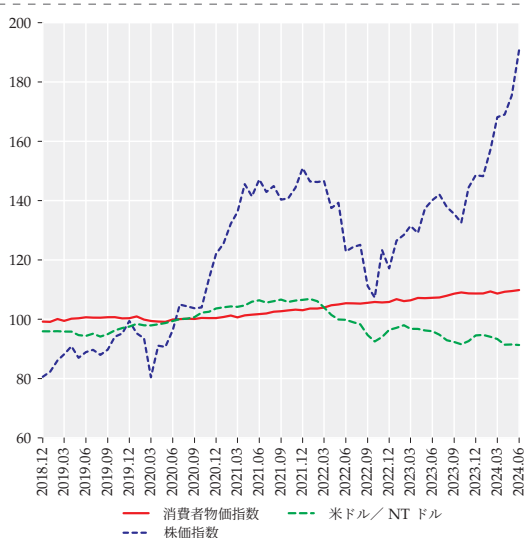
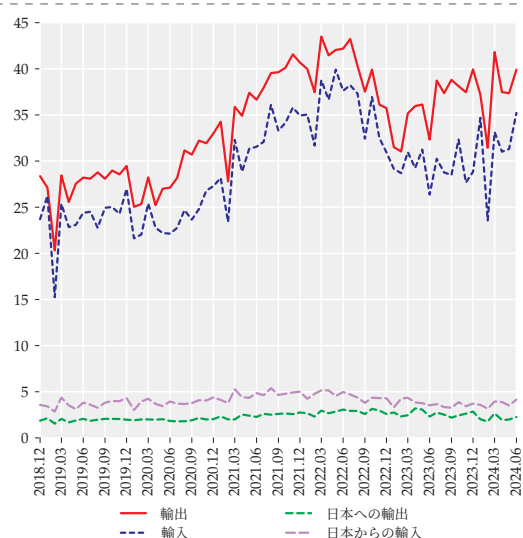


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



台湾経済の動向 (2024年第2四半期)

台湾の2024年第2四半期の実質 GDP の伸び率（前年同期比，以下同じ）は5.06 %で，前期の6.63 %から約1.6 %ポイント低下した。主な理由は，商品輸出の伸びが予想を下回ったことである。6月末の株価指数は23,032.25，1米ドル＝32.39台湾ドルであった。株価は上昇し，台湾ドル相場は下落した（今年3月末の同指標は20,294.45，31.69台湾ドル）。6月末の消費者物価指数は107.71であり，3月以降およそ2 %の物価上昇率で安定的に推移している。国際貿易では，輸出は前四半期の13.01 %増から下落し，9.90 %となった。輸入の伸び率は12.31 %で，前四半期の2.89 %から大幅に上昇した。AI（人工知能）に対する旺盛な需要が，情報通信関連製品の輸出を急増させているが，それら以外の製品の輸出は停滞している。今後も AI 関連製品が輸出を牽引することが見込まれるが，AI 関連製品の輸出には，技術開発の動向や量産体制の構築，AI 応用技術の進展など，不確定な影響要因もある。（柯 宜均）

インドネシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

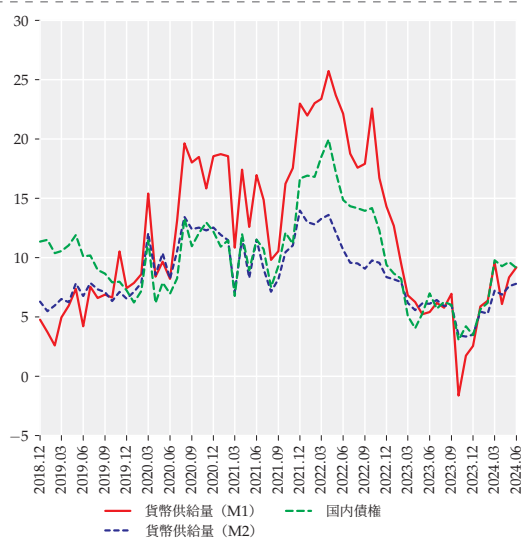


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

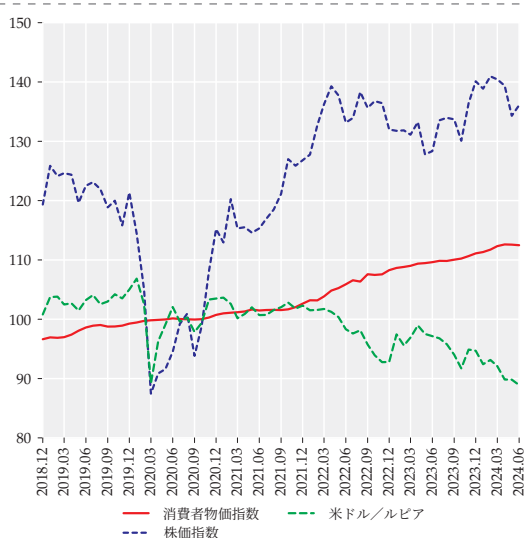
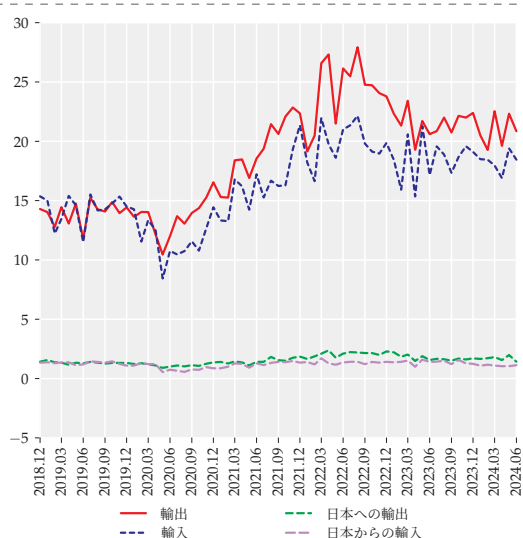


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インドネシア経済の動向 (2024年第2四半期)

2024年第2四半期の実質 GDP 成長率は前年同期比で 5.05 % となった。前期 (5.11 %) からはやや減速したものの、5 % を超える高い成長率を維持した。GDP の 2 分の 1 を占める家計最終消費支出が前期 (4.91 %) に引き続き 4.93 % と堅調を維持し、総固定資本形成は前期 (3.79 %) から加速し 4.43 % に、輸出は前期 (1.37 %) から大きく加速し 8.28 % 増となった。産業別に見ると、GDP のおよそ 2 割を占める製造業が 3.95 % と前期 (4.13 %) から減速したほか、建設業 (7.59 %) や情報・通信業 (8.41 %) も成長が鈍化した。一方、宿泊・飲食業 (10.17 %) と運輸・倉庫業 (9.56 %)、金融・保険業 (7.90 %) はいずれも前期から加速し、高い成長を記録した。3 月に 3.04 % であった物価上昇率が、4 月以降 4 カ月連続で下落し、7 月には 2.13 % となった。これに対し中央銀行は、2024~25 年にかけて物価上昇率はインフレーションターゲット (1.5~3.5 %) の範囲に収まることを確信していると述べた。世界銀行は 2024 年の実質 GDP 成長率を 5.0 % と予測している。(田村一軌)

マレーシアの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)

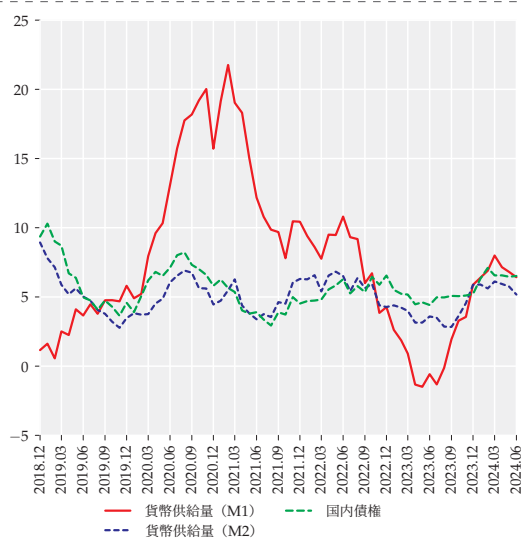


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

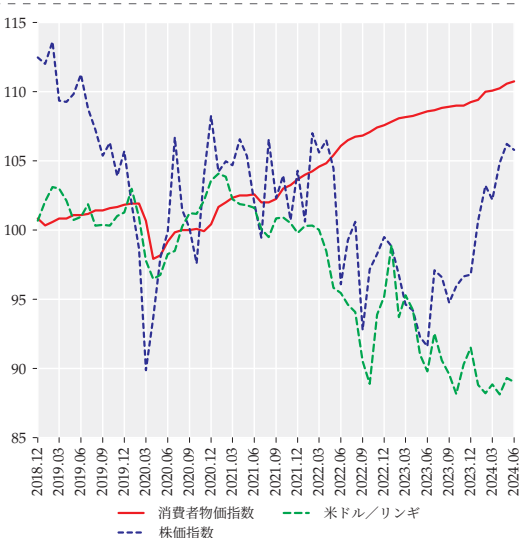
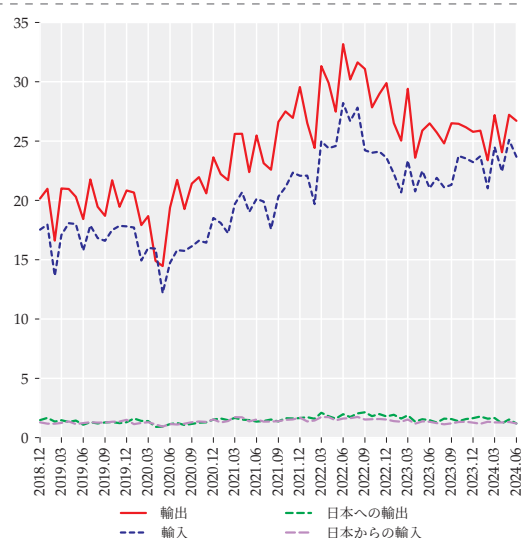


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



マレーシア経済の動向 (2024年第2四半期)

2024年第2四半期の実質 GDP 成長率は、国内需要の高まりと輸出のさらなる拡大によって牽引され、5.9%となった。労働市場の好調が持続し政策的支援が拡大するなか、家計支出は増加した。また、外需の増加と世界的なハイテク産業の成長サイクルによる波及効果により、輸出が改善した。リングgitは対米ドルで3.1%上昇したが、これは金融市場参加者の間で米国の政策金利引き下げへの期待が高まり、リングgitを含む通貨への圧力が緩和されたことも一因である。今後は、国内面では、雇用と賃金の継続的な伸びと政策措置が家計支出を下支えするだろう。対外的には、世界的なハイテク産業の成長に加えて、電気・電子製品以外への旺盛な需要の継続が輸出を押し上げると予想される。2024年下半期は、主にディーゼル燃料に対する補助金の合理化により、インフレ率が上昇することが予想される。しかし、企業へのコスト影響を最小限に抑えるための政府による緩和策を考慮すれば、影響は管理可能な範囲にとどまるだろう。(アルバロ・ドミンゲス)

フィリピンの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

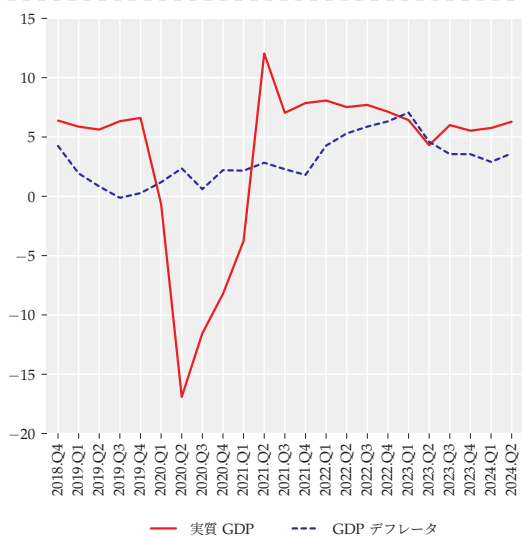


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

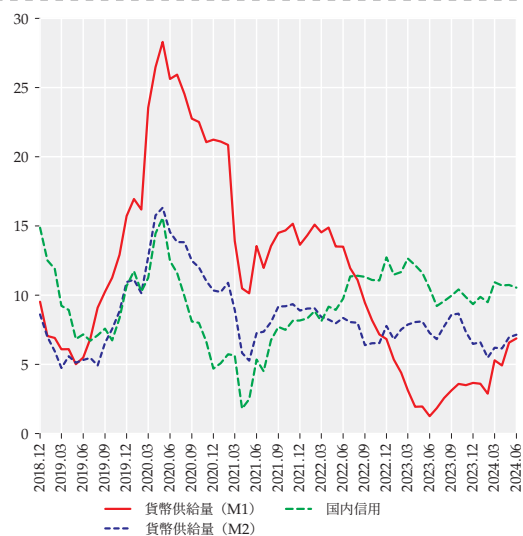


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

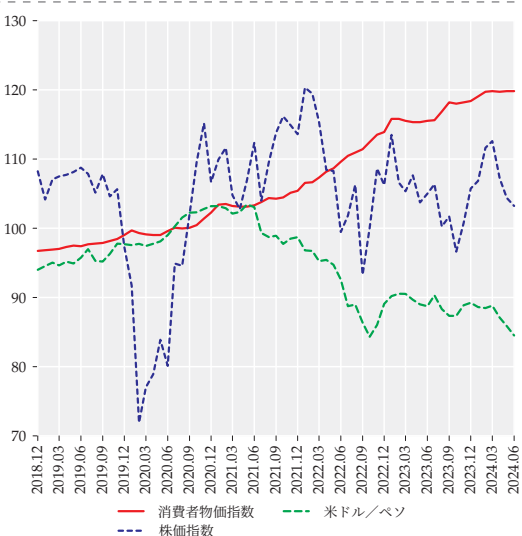
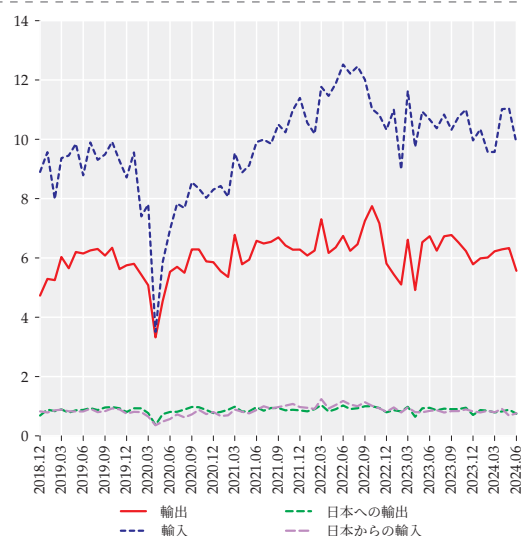


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



フィリピン経済の動向 (2024年第2四半期)

フィリピン経済の実質 GDP 伸び率は、2024年第1四半期は5.8%、第2四半期は6.3%であった。2024年第2四半期の実質 GDP 需要項目別では、前年同期比の伸び率で、GDPの68%を占める民間最終消費支出は4.6%（前期は4.6%）と横ばいであり、他方で政府最終消費支出は10.7%（前期は1.7%）と大幅に増加した。総固定資本形成も9.5%（前期は2.1%）と大幅に上昇した。財・サービスの輸出は4.2%（前期は8.4%）と下落し、財・サービスの輸入は5.2%（前期は2.2%）と増加している。第2四半期の伸び率を産業別にみれば、第一次産業は-2.3%（前期は0.5%）と減少し、第二次産業は7.7%（前期は5.1%）と持ち直した。GDPの62%を占める第三次産業は6.8%（前期6.9%）と同水準を維持した。その中で、運輸・倉庫業14.8%、宿泊・飲食業10.4%、金融・保険業8.2%の伸びが大きく、専門・ビジネスサービス業7.6%、不動産業7.2%も堅調であった。

(岸本千佳司)

シンガポールの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

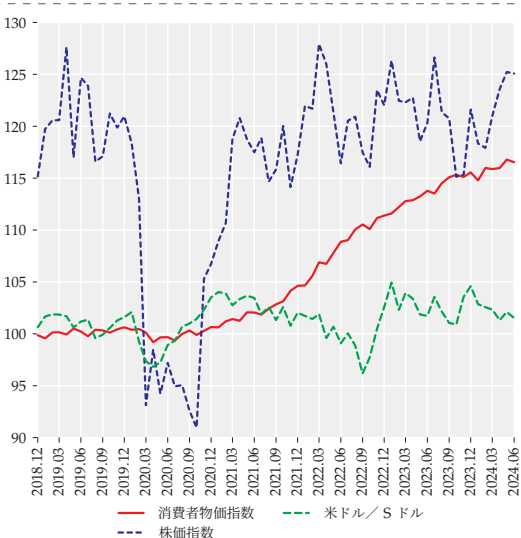
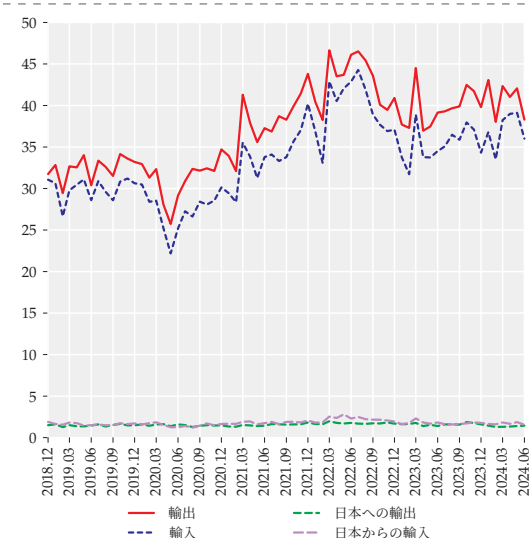


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



シンガポール経済の動向 (2024年第2四半期)

2024年第2四半期の実質 GDP は前年同期比で 2.9 %増加した。製造業は前年同期比で 1.0 %縮小し、前期の 1.7 %縮小から緩和した。この部門の業績低迷は主にバイオメディカル製造業と精密工学クラスターの生産量減少によるもので、バイオメディカル製造業は医薬品生産量の急激な落ち込みによってさらに圧迫された。建設部門は前年同期比で 3.8 %増となり、前期 (4.1 %増) の傾向を継続した。これは、公共部門および民間部門の建設生産高が増加したためである。卸売業部門は 3.9 %増となり、前期の 2.5 %増を上回った。シンガポールの主要貿易相手国の GDP 成長率は概ね予想通りで、米国とマレーシアは国内需要が堅調なため期待を上回る伸びを示している。ユーロ圏の成長率は個人消費の回復により徐々に改善すると予想される。一方、中国は投資の先細りにより成長率が若干鈍化する可能性があるが、政府の支援策により消費者心理は回復する可能性がある。MTI は、2024 年の実質 GDP 成長率を 2~3 %と予測している。(アルバロ・ドミンゲス)

タイの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)

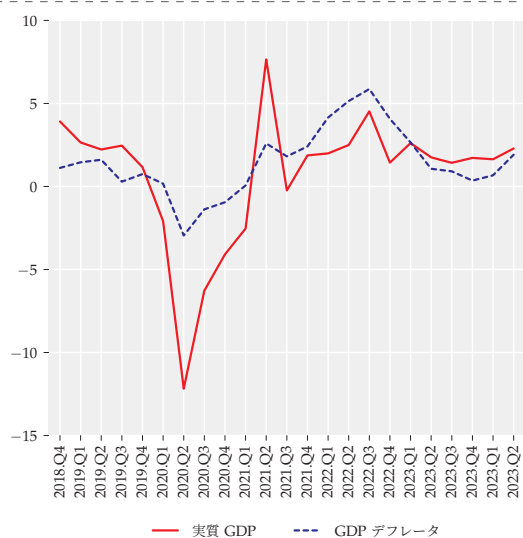


図2：貨幣供給量と国内債権の伸び率
(前年同月比, %)



図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

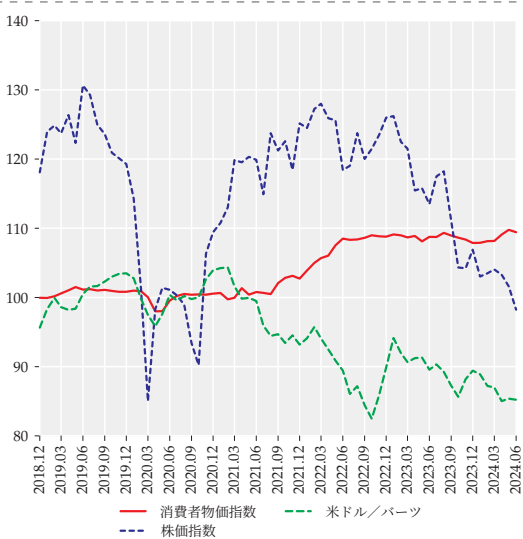
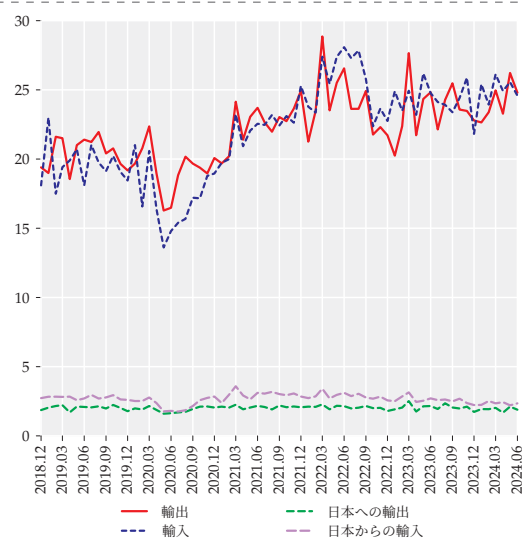


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



タイ経済の動向 (2024年第2四半期)

2024年第2四半期の実質 GDP 成長率は、前期の1.6%から2.3%へと加速した。この増加は、主に工業部門を中心とする非農業部門の拡大によるものだが、宿泊・飲食業や運輸・倉庫業といった観光関連サービス業は減速し、農業部門も縮小した。支出面では、政府最終消費支出や財・サービスの輸出が増加した一方、民間最終消費支出は減速し、固定資本形成も減少した。生産面では、非農業部門が2.6%増加した結果、全体で1.6%の拡大が見られた。特に工業部門は1.8%増加し、前期の1.0%減少から回復した。サービス業部門も3.1%増加したが、前期の3.6%からはやや減速した。一方で、農業部門は1.1%減少したものの、前期の2.7%減よりは改善が見られる。タイ経済全体は、高水準の家計債務や借入コスト、さらに最大の貿易相手国である中国経済の減速に伴う輸出不振に直面しており、東南アジア諸国と比べて成長が遅れている。この状況を踏まえ、国家経済社会開発委員会 (NESDC) は今年の実質 GDP 成長率を2.3~2.8%と予測している。(姚 瑩)

ベトナムの経済指標

図1：実質 GDP の伸び率

(前年同期比, %)

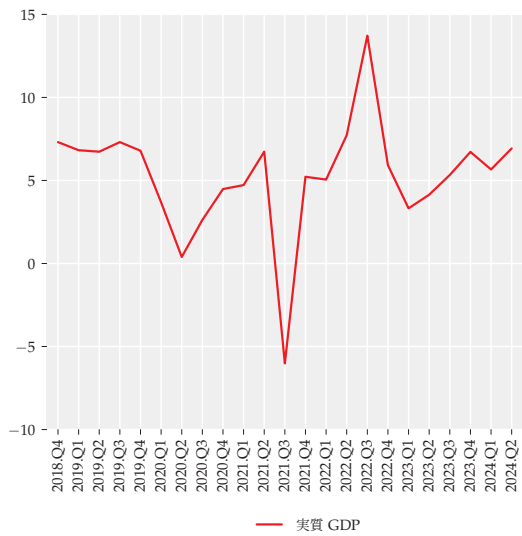


図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率

(前年同月比, %)

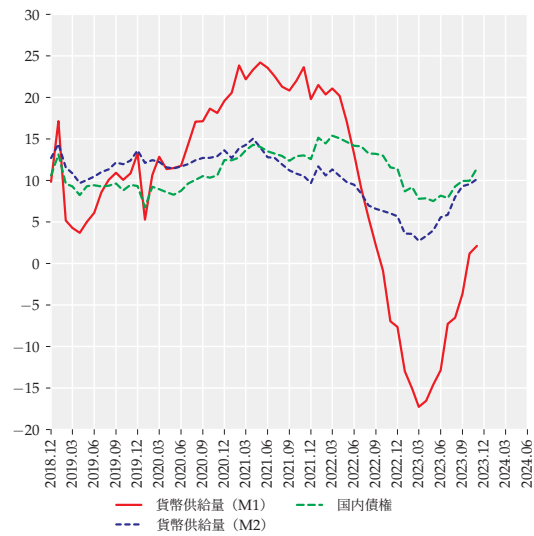


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数

(2020年=100)

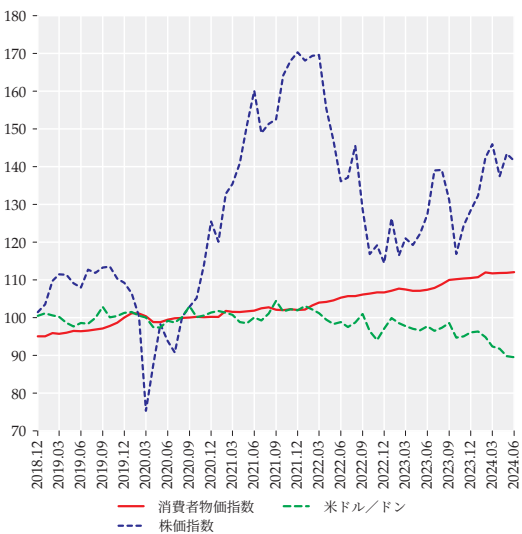


図4：輸出額と輸入額

(10 億米ドル)



ベトナム経済の動向 (2024 年第 2 四半期)

2024 年第 2 四半期のベトナム経済は、前年同期比で 6.93 % のプラス成長となった。この成長に対して、工業・建設部門が 45.73 %、サービス部門が 48.91 % 貢献した。また、農林水産業も 3.34 % の伸びを示した。上半期の GDP 成長率は 6.42 % で、主要セクターが堅調な伸びを示した。農業は米の生産が安定した伸びを示し、林業と漁業部門はそれぞれ 5.34 % と 2.9 % 拡大した。工業生産は 7.54 % 増加し、製造業と電力生産が牽引した。さらに、小売業や観光業を含むサービス業は大幅に増加し、外国人観光客は 58.4 % 増加した。課題はあるものの、企業登録数やビジネス動向は引き続き楽観的であり、外国投資資本は 13.1 % 増加した。全体として、2024 年中間時点でのベトナム経済は、様々なセクターで回復力と成長を示しており、国内市場と海外市場の両方において今後も成長が期待できる。

(グエン・フン・トウ・ハン)

インドの経済指標

図1：実質 GDP と GDP デフレータの伸び率
(前年同期比, %)



図2：貨幣供給量と国内信用の伸び率
(前年同月比, %)

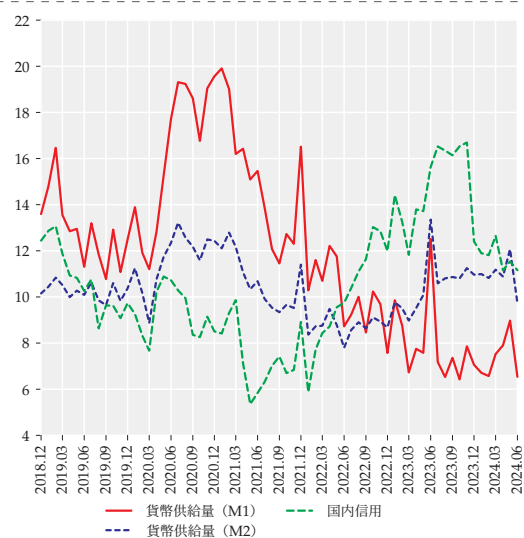


図3：消費者物価指数, 株価指数, 為替レート指数
(2020年=100)

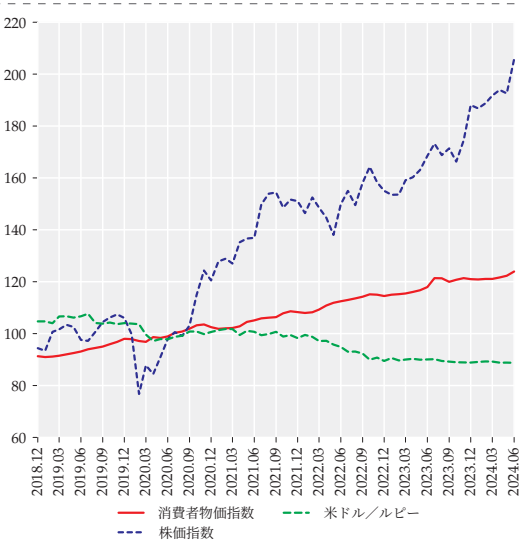
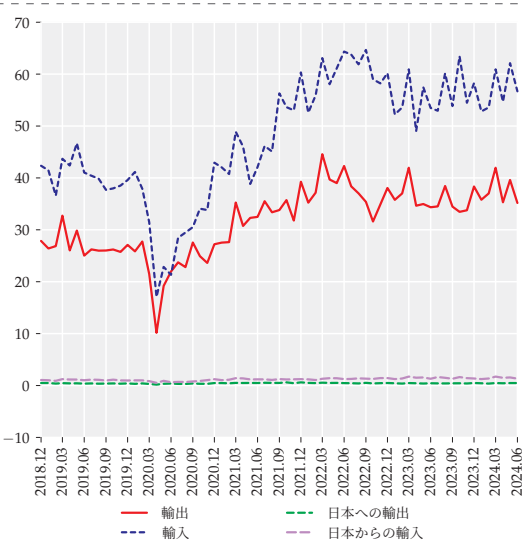


図4：輸出額と輸入額
(10億米ドル)



インド経済の動向 (2024年第2四半期)

2024年第2四半期において、インド経済は6.7%の成長率を記録したが、これは過去5四半期で最も低い成長率である。成長の主な牽引役は第2次産業であり、全体で8.4%の増加を見せた。特に電気・ガス・水道・公共事業および建設業が約10%の成長を達成し、成長を支える重要な要因となった。一方、選挙前の政府支出は0.2%縮小したものの、民間消費と投資には回復の兆しが見られた。消費動向には地域差がある。都市部の消費者心理が弱まる一方で、農村部の支出は回復傾向にあり、7月には二輪車やトラクターの販売が増加した。中央銀行は今年度の成長率を7.2%と予測している。良好な降雨による農業生産の増加と農村部の需要拡大が期待される一方で、雇用創出の鈍化が課題となっており、これが賃金の停滞や低所得世帯の消費減少に影響を及ぼす恐れがある。また、中央銀行による融資規制の強化や州政府の支出削減が、経済成長の抑制要因として懸念されている。(姚 瑩)

図に関するデータの出所および注

日本：

- 図 1 内閣府経済社会総合研究所 (<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/menu.html>)
- 図 2 日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 3 消費者物価指数：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/cpi/index.html>)；株価指数：日本経済新聞社，日経平均プロフィール (<https://indexes.nikkei.co.jp/nkave/index/profile?idx=nk225>)；為替レート指数：日本銀行 (<https://www.stat-search.boj.or.jp>)
- 図 4 財務省 (<https://www.customs.go.jp/toukei/suii/html/time.htm>)；東アジアは中国，香港，韓国，台湾，インドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ，ベトナムの合計

中国：

- 図 1 China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 2, 図 3 China, Statistics and Analysis Department, The People's Bank of China (<http://www.pbc.gov.cn/diaochatongjisi/116219/index.html>)
- 図 3 消費者物価指数：China, National Bureau of Statistics, *Statistical Database* (<https://www.stats.gov.cn/english/Statisticaldata/>)
- 図 4 China, General Administration of Customs, *Statistics / Monthly Bulletin* (<http://english.customs.gov.cn/statics/report/monthly.html>)

香港：

- 図 1, 図 4 Hong Kong, Census and Statistics Department, *List of All Statistical Products* (https://www.censtatd.gov.hk/en/page_1273.html)
- 図 2, 図 3 Hong Kong, Monetary Authority, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.hkma.gov.hk/eng/market-data-and-statistics/monthly-statistical-bulletin>)

韓国：

- 図 1, 図 2, 図 3, 図 4 Korea, Bank of Korea (<https://ecos.bok.or.kr>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EKS11/history>)

台湾：

- 図 1 Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cl.aspx?n=2332>)
- 図 2 Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-511-2069-A8BEF-2.html>)
- 図 3 消費者物価指数：Republic of China, Directorate-General of Budget, Accounting and Statistics, *National Statistics* (<https://eng.stat.gov.tw/cp.aspx?n=2327>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5ETWII/history>)；為替レート指数：Republic of China, Central Bank of China (<https://www.cbc.gov.tw/en/cp-480-58819-C8475-2.html>)
- 図 4 Republic of China, Customs Administration, Ministry of Finance, *CPT Single Window, Statistical Database Query* (<https://portal.sw.nat.gov.tw/APGA/GA30E>)

インドネシア：

- 図 1 Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *Statistics by Subject* (<https://www.bps.go.id/en/statistics-table?subject=531>)
- 図 2 Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 3 株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EJKSE/history>)；消費者物価指数：Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *Statistics by Subject* (<https://www.bps.go.id/en/statistics-table?subject=536>)；為替レート：Indonesia, Bank Indonesia, *Indonesian Economic and Financial Statistics* (<https://www.bi.go.id/en/statistik/ekonomi-keuangan/seki/Default.aspx>)
- 図 4 Indonesia, BPS-Statistics Indonesia, *National Export Import Data* (<https://www.bps.go.id/en/exim>)

マレーシア：

- 図 1 Bank Negara Malaysia, *National Summary Data Page for Malaysia* (<https://www.bnm.gov.my/national-summary-data-page-for-malaysia>)
- 図 2, 図 3 Bank Negara Malaysia, Bank Negara Malaysia, *Monthly Highlights and Statistics* (<https://www.bnm.gov.my/publications/mhs>)
- 図 2 国内債権：International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図 3 株価指数：Bloomberg (<https://www.bloomberg.co.jp/quote/FBMKLCI:IND>)
- 図 4 Malaysia, Department of Statistics, *Malaysia External Trade Statistics* (<https://metsonline.dosm.gov.my/>)

フィリピン：

- 図1 Philippines, Philippine Statistics Authority, *National Accounts* (<https://psa.gov.ph/statistics/national-accounts>)
- 図2 Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Financial System Accounts* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Financial%20System%20Accounts.aspx?TabId=3>)
- 図3 消費者物価指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – Prices* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/Prices.aspx?TabId=1>)；為替レート指数：Philippines, Bangko Sentral ng Pilipinas, *Statistics – External Account* (<https://www.bsp.gov.ph/SitePages/Statistics/External.aspx?TabId=9>)；株価指数：Yahoo Finance (<https://finance.yahoo.com/quote/PSEI.PS/history>)
- 図4 Philippines, Philippine Statistics Authority, *Foreign Trade* (<https://psa.gov.ph/statistics/foreign-trade>)

シンガポール：

- 図1 Singapore, Department of Statistics (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/national-accounts>)
- 図2 Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Money-and-Banking.aspx>)；シンガポール金融管理局が2021年7月から統計の集計方法を変更したため、それ以降2022年6月までの前年同月比を計算していない。
- 図3 消費者物価指数：Singapore, Department of Statistic, (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/economy/prices-and-price-indices>)；株価指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Monthly Statistical Bulletin* (<https://www.mas.gov.sg/Statistics/Monthly-Statistical-Bulletin/Financial-Markets.aspx>)；為替レート指数：Singapore, Monetary Authority of Singapore, *Exchange Rates* (<https://www.mas.gov.sg/statistics/exchange-rates>)
- 図4 Singapore, Department of Statistic (<https://www.singstat.gov.sg/find-data/search-by-theme/trade-and-investment/merchandise-trade>)

タイ：

- 図1 Thailand, National Economic and Social Development Council, *National Account* (https://www.nesdc.go.th/nesdb-en/main.php?filename=national_account)
- 図2 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/monetary-statistic.html>)
- 図3 消費者物価指数：Thailand, Ministry of Commerce, Bureau of Trade and Economic Indices (<http://www.price.moc.go.th/en/Default5.aspx>)；株価指数：Thailand, The Stock Exchange of Thailand, *Market Statistics* (<https://www.set.or.th/en/market/statistics/market-statistics/main>)；為替レート指数：Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)
- 図4 Thailand, Bank of Thailand, *Statistics and Dissemination* (<https://www.bot.or.th/en/statistics/external-sector.html>)

ベトナム：

- 図1 Vietnam, General Statistics Office, *National Accounts* (<https://www.gso.gov.vn/en/national-accounts/>)
- 図2 International Monetary Fund, *International Financial Statistics* (<https://data.imf.org/ifs>)
- 図3 消費者物価指数および為替レート：Vietnam, General Statistics Office, *Consumer price index archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/cpi/>)；株価指数：Fusion Media, *Investing.com* (<https://www.investing.com/indices/vn-historical-data>)
- 図4 Vietnam, General Statistics Office, *Thematic Data, Import-Export archive* (<https://www.gso.gov.vn/en/import-export/>)

インド：

- 図1 India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)
- 図2, 図3, 図4 Reserve Bank of India, *RBI Bulletin* (https://www.rbi.org.in/Scripts/BS_ViewBulletin.aspx)
- 図3 2021年2月の消費者物価指数：India, Ministry of Statistics and Programme Implementation (<https://www.mospi.gov.in>)；株価指数：Yahoo (<https://finance.yahoo.com/quote/%5EBSESN/history>)
- 図4 日本との輸出入：India, Ministry of Commerce and Industry, *System on India's Monthly Trade* (<https://tradestat.commerce.gov.in/meidb/>)